

沖縄経済環境研究所 第1回研究会

沖縄観光の現状と課題

「世界水準の観光リゾート地」を目指して

【概要】 近年好調に推移する沖縄観光であるが、県が公表した観光関連の基本データをもとに改めて本県観光の現状及び課題等について概観するとともに、「沖縄観光振興基本計画」で目指す2021年の入域観光客1千万人、観光収入1兆円をはじめ各目標値の達成、ひいては「世界水準の観光リゾート地」実現のために今後早急に取り組むべき課題、特に急増するインバウンド客への対応等について県及びOCVBの考え方、方向性等を提示しつつ、併せて話者の個人的見解も開陳したうえで参加者との意見交換を行いたい。

日時：2016年

11月29日(火)

16時20分～17時50分

場所：沖縄国際大学

13号館1階研究所会議室

対象：学生・一般・教職員

備考：申込不要・参加無料

◆◇研究会講師◇◆

嘉手苺 孝夫 氏

一般財団法人
沖縄観光コンベンションビューロー 専務理事
早稲田大学政治経済学部政治学科を卒業後、沖縄県職員となる。ペンシルヴァニア大学大学院へ留学。帰沖後、シンガポール駐在（沖縄県事務所長）、沖縄科学技術大学院大学（出向）、文化観光スポーツ部文化スポーツ統括監、沖縄観光コンベンションビューロー（出向）参与等を経て現職。